

ビル管理技術科

詳しい内容はこちら



建物の快適を守る
施設管理のプロ

R6年度就職率
79.2%

標準コース

訓練期間：6か月
入所月：4月/7月/
10月/1月

ビジネススキルコース付き

訓練期間：7か月
入所月：6月/9月/
12月/3月

必要経費

テキスト代等 12,000円程度
(作業服、作業帽、安全靴、手袋
は各自で準備してください。)

想定される仕事

- 電気工事
- ビル設備管理
- LPガス設備保全
- 施設運転維持管理
- 空調設備工事

就職実績企業

- 有明機電工業(株)
- 九州メンテナンス(株)
- 東京美装興業(株)
- J&T環境(株)
- (株)サプライ飛永
- (株)荒尾電工

各職種に関する情報

(仕事の内容・給料等)は
『job tag』
(厚生労働省職業情報提供サイト)
(旧・日本版O-NET)

<https://shigoto.mhlw.go.jp>

で調べることができます

電気工事



ビル設備
管理



配管工



ボイラー
オペレータ



ビル管理技術科の内容

ビル管理の現場では、多種多様な設備に対して幅広い知識を持ち、適切・迅速な対応をできる方が求められています。ビル管理技術科では、第2種電気工事士、危険物取扱者乙種第4類等の資格を取得し、各種設備（電気、空調、給排水、ボイラーなど）における専門的な知識を持った人材を目指します。



4月 10月 電気配線工事

- ▶電気理論
- ▶配電設計
- ▶低圧電気取扱い
(特別教育)
- ▶電気工事実習



7月 1月 給排水衛生設備

- ▶上下水道に関する知識
- ▶給排水管の接続
- ▶衛生器具据付け
- ▶材料取り



5月 11月 電気設備保安全管理

- ▶電気測定
- ▶高圧受変電設備
- ▶シーケンス制御
- ▶電動機制御



8月 2月 ボイラー取扱い・設備CAD

- ▶CAD基本操作
- ▶設備CADによる図面作成
- ▶ボイラーの構造
- ▶ボイラーの取扱い



6月 12月 消防設備・情報活用

- ▶自動火災報知設備
- ▶危険物取扱い
- ▶文書作成
- ▶表計算



9月 3月 空調設備保安全管理

- ▶空調に関する知識
- ▶エアコン据付け
- ▶空調設備の故障診断
- ▶ガス溶接
(技能講習)



取得にチャレンジできる資格

- 第二種電気工事士(上期：学科 5月 実技 7月、
下期：学科10月 実技12月)
低圧で受電する設備の電気工事ができます。
- 二級ボイラー技士(学科毎月：九州安全衛生技術センター)
ボイラーの取り扱いができます。また、伝熱面積25㎡
未満のボイラーの作業主任者になることができます。
- 危険物取扱者乙種第4類(6月、11月、2月)
ガソリン、灯油などの第4類の危険物の取扱いがで
きます。
- 消防設備士乙種第4類(8月、9月、3月)
自動火災報知設備やガス漏れ火災警報設備の点検や
整備を行うことができます。

訓練期間中に取得可能な資格

- ガス溶接技能講習
- 低圧電気取扱業務に係る特別教育

テクノインストラクターのコメント

20代から60代まで、様々な経験をお持ちの方が学ばれています。訓練は電気や水道など身の回りにある設備を学びます。基礎から習得していくので初心者の方でも大歓迎です。生活に身近な内容なので家庭でも役立ちますよ。

修了生の声

前職では、正社員で工場内配管(プラント配管)や鉄工の仕事を行っていましたが、親の仕事を継ぐことになり、電気を学ぶためにポリテクセンターに入所いたしました。将来の仕事として電気関係や設備関係の職種を考えている場合、就職しても何もできないということがないように基本知識、基本技能はしっかり学んでおいたほうがよいと思います。電気の基本知識は役に立っています。

Voice